

「家庭総合」	教科	家庭	単位数	2単位
	学科、学年、組	1学年、5・6組		
使用教科書	「未来へつなぐ 家庭総合 365」(教育図書)			
副教材等	「未来へつなぐ 家庭総合 365 マスターノート」(教育図書)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、 よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の とおりに育成することを目指す。
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点を基に総合的に評価します。

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家族及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	40%	・定期考査 ・作品 ・実技テスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	30%	・定期考査 ・ノート、ホームプロジェクトなどの内容
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	30%	・ノート、課題、などの内容。 ・授業への取り組み状況

3 学習計画

学習内容	学習のねらい
A編 第1章 生涯の生活設計 (1)あなたの将来 青年期と家族 (1)自立への一歩 (2)パートナーとともに生きる (3)家族・家庭って何？ (4)現在の家族を取り巻く状況 (5)男女共同参画、仕事と生活	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。 家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。
B編 第2章 衣生活と健康 (1)衣服の役割 (2)衣服の材料 (3)布の成り立ち (4)衣服の加工と構成 (5)衣服の計画・管理 (6)衣服の洗濯と保管 (7)衣生活と環境のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 被服のさまざまな役割を整理する。 被服材料の特徴を知り、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などを理解する。 汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。 布を使った生活の工夫を知る。

2	<p>ホームプロジェクト 【エプロン製作】 裁断・ポケット作り・肩ひも作り・胸当て縫い 袖ぐり縫い・脇縫い・ポケット付け・肩ひも付け 仕上げ B編 第1章 生活における経済の計画 (1)家計と社会とのかかわり (2)家計を管理 (3)将来の経済計画v 第2章 消費生活と意思決定 (1)消費生活 (2)契約とは (3)消費者信用 (4)かしこい消費者になろう (5)消費者問題 (6)消費者の権利と責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの発表を通して、生活課題を発見する視点やその課題を解決するための手立てについて理解を深める。 ・実習を通して題材に応じた裁断・裁縫・仕上げを行う技法を習得し、計画に従い能率的に製作を行うことができる能力を身につける。 ・被服製作の基本になる縫い方（ミシン縫い、ボタン付け）を確実に身に付ける。 ・完成させた時の達成感を味わうことができる。 ・高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識する。 ・国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。 ・キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ・消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。
3	<p>A編 第4章 高齢期の生活と福祉 (1)高齢者の心身の特徴 (2)高齢期の生活 (3)高齢化を考える (4)介護保険制度と地域社会 (5)高齢者の介助体験 共生社会 (1)共生社会とは (2)ノーマライゼーション 【手縫いの実践】 並み縫い・まつり縫い・半返し縫い コースターの製作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状と課題を理解し、身近な高齢者に関心を持つ。 ・高齢期の心身の変化や特徴や個人差が大きいことを理解する。 ・高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。 ・一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。 ・多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。 ・コースター製作をとおして、手縫いの方法を理解し、手縫い技術の習得を図る。